



2005 年度後期

「学生による授業評価アンケート」全学集計結果(概要・分析)

2006 年 3 月

法政大学 FD 推進センター

1. 後期授業評価アンケートの結果概要

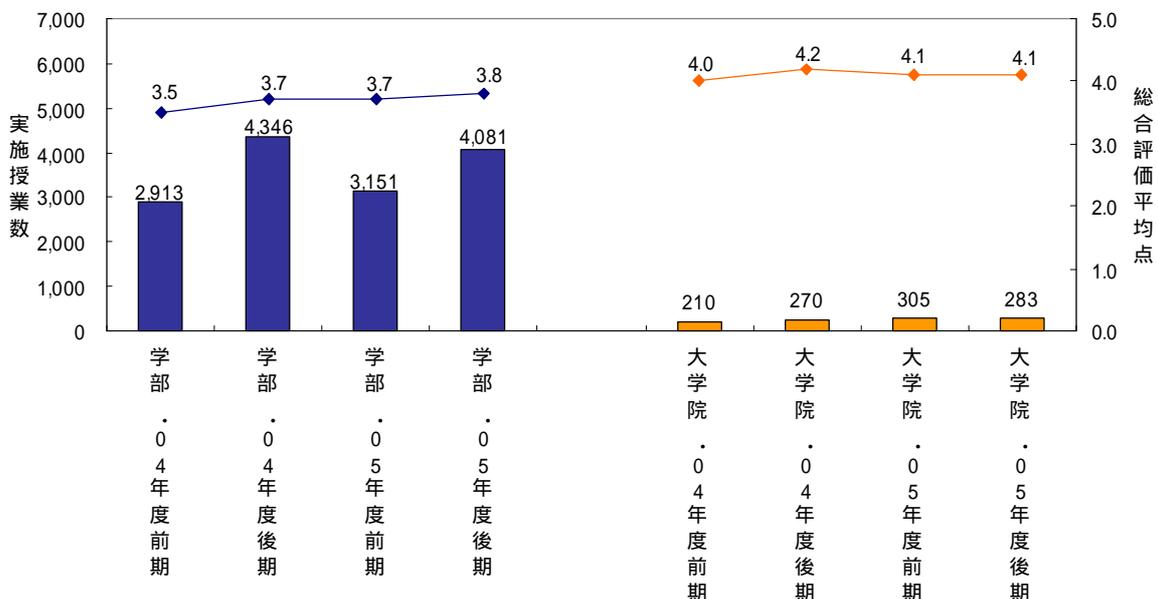
法政大学では、2005 年 12 月 2 日から 22 日まで(市ヶ谷地区大学院では 12 月 16 日～26 日および 2006 年 1 月 10 日～23 日など、一部例外あり)、全学規模で「学生による授業評価アンケート」を実施しました。これは、昨年度の前期、全学 FD 推進委員会の下でスタートしてから、4 回目にあたります。

本アンケートの実施目的は、これまでと同様、学生が各授業をどのように見ているのかという観点からの情報収集と教員個々の気づきを目的とし、ひいては各授業の質の向上につなげること、学生の授業参加への意識を高めることです。

今回のアンケートの実施授業数は、学部は 4,081、大学院は 283 で、全学の実施率は約 85%でした(図 1)。学部の実施授業数が前年同期に比べ減少したこと、全学的な実施率もこれまでの約 90%から減少したことは、今後の課題と言えます。

一方、授業の総合評価(5 段階評価)の平均点は、学部が 3.8 点、大学院が 4.1 点でした。大学院に比べ平均点の低い学部の方で、着実な改善傾向が認められます。個別の質問項目を見ると、教え方の熱意、教え方のわかりやすい工夫、使用教材の適切さ、参加意欲を促す工夫、授業内容の理解などの項目では、本アンケートがスタートした 2004 年度前期と比べ、「5. 大いにそうである」と「4. そうである」の割合が 10 数%ポイント増えています(6～8 ページの付属統計表を参照)。また、学生の授業への積極的取り組み、授業内容への興味、総合的満足度の各項目でも、約 10%ポイント増えています。

図1 「学生による授業評価アンケート」の実施授業数、総合評価平均点の推移



2. 授業毎の総合評価平均点の分布状況

これまで、本アンケートの全学集計は、個々の学生の回答から直接、さまざまなクロス集計等を行ってきました。一方、担当教員に対しては、それぞれの担当授業毎に集計した結果が知らされており、自分の担当授業が他の授業と比べてどのような位置づけにあるのか知りたいという要望がしばしば寄せられてきました。そこで、今回は、授業毎に集計した総合評価点(授業に対する総合的な満足度)の分布がどうなっているか、集計してみました(表1、図2・3・4)。

まず、学部と大学院を比べると、大学院の方が分布が右に偏っており、4点以上の割合がかなり高いことがわかります(学部の38%に対し、大学院は69%)。また、全授業について集計したものと、回答者が10人以上の授業に限って集計したものを比べると、前者の方がばらつきが大きく、特に高得点授業の割合が高めに出る傾向が見られます。そこで、本項の以下の分析では、回答者が10人以上の授業に限って集計しています。

つぎに、学部の授業の種類別に見ると、実技、演習といった科目で高得点授業の割合が高くなっています。特に、実技では75%の授業が4点以上です。

最後に、学部の講義について、受講生の人数階級別に見ると、やはり受講者数の少ない授業ほど高得点授業の割合が高くなっています。具体的には、4点以上の授業の割合は、25人未満授業で58%と半数を超えており、以下、25-49人規模で37%、50-99人規模で23%、100人以上規模ではいずれも10%となっています。

表1 授業種類別の総合評価平均点の平均、標準偏差、分布
(授業毎に集計した結果を観測単位としたもの)

授業種類	授業数	平均	標準偏差	授業毎の平均点の分布割合(%)				合計
				1~2未満	2~3未満	3~4未満	4~5以下	
学部全体	4,080	3.751	0.608	0.5	10.0	51.3	38.1	100.0
同上(回答者10人以上)	3,535	3.697	0.577	0.5	10.7	55.1	33.7	100.0
大学院全体	280	4.128	0.637	0.4	5.0	25.4	69.3	100.0
同上(回答者10人以上)	114	3.892	0.563	0.0	7.9	36.8	55.3	100.0
<学部・授業種類別(回答者10人以上)>								
講義	1,617	3.603	0.556	0.4	13.0	60.5	26.1	100.0
演習	361	3.920	0.632	0.3	9.4	38.5	51.8	100.0
語学	1,230	3.678	0.550	0.6	10.0	57.7	31.7	100.0
実験	104	3.573	0.589	1.9	9.6	64.4	24.0	100.0
実技	217	4.197	0.414	0.0	1.4	23.5	75.1	100.0
<学部講義・受講者数別(回答者10人以上)>								
25人未満	153	4.009	0.556	0.0	3.3	39.2	57.5	100.0
25-49人	358	3.722	0.553	0.0	10.9	52.0	37.2	100.0
50-99人	437	3.538	0.560	0.5	14.6	61.6	23.3	100.0
100-199人	408	3.462	0.521	1.2	15.7	68.4	14.7	100.0
200-299人	120	3.502	0.468	0.0	17.5	65.8	16.7	100.0
300人以上	141	3.553	0.444	0.0	12.1	74.5	13.5	100.0

注:「総合評価平均点」とは、授業に対する総合的な満足度を尋ねた学部の間12、大学院の間10の結果を、授業毎に平均したもの(1~5点の5段階評価)。

図2 学部、大学院別、授業毎の総合評価平均点の分布

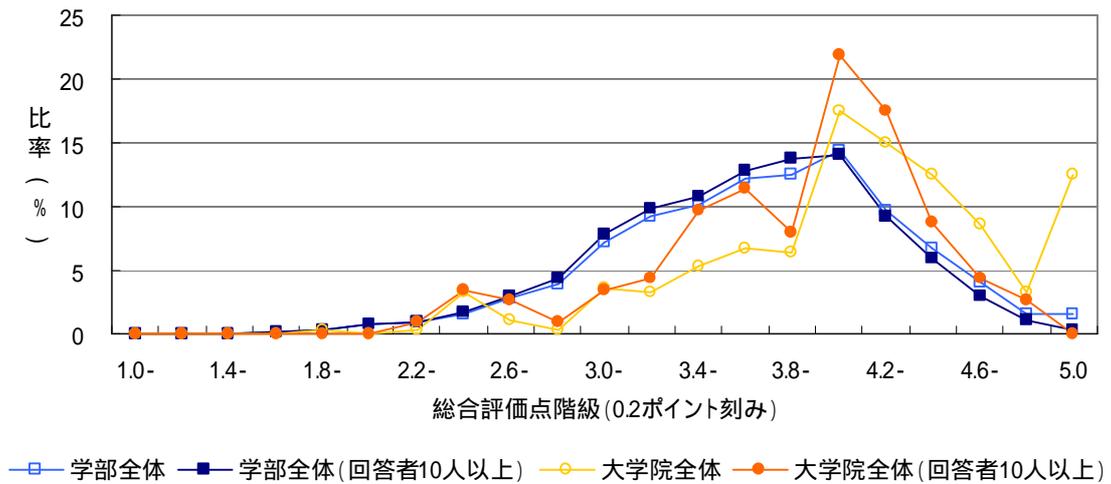


図3 学部授業種類別、授業毎の総合評価平均点の分布(回答者10人以上)

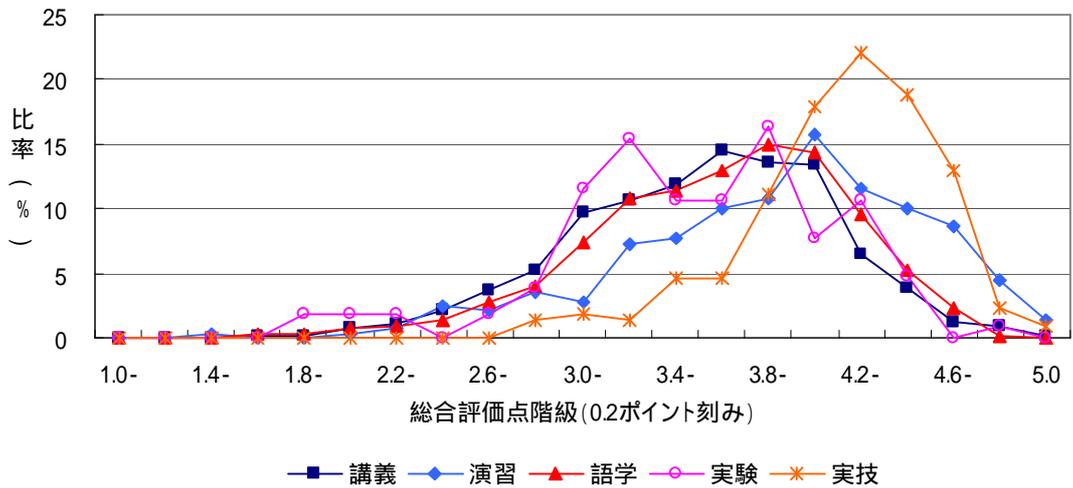
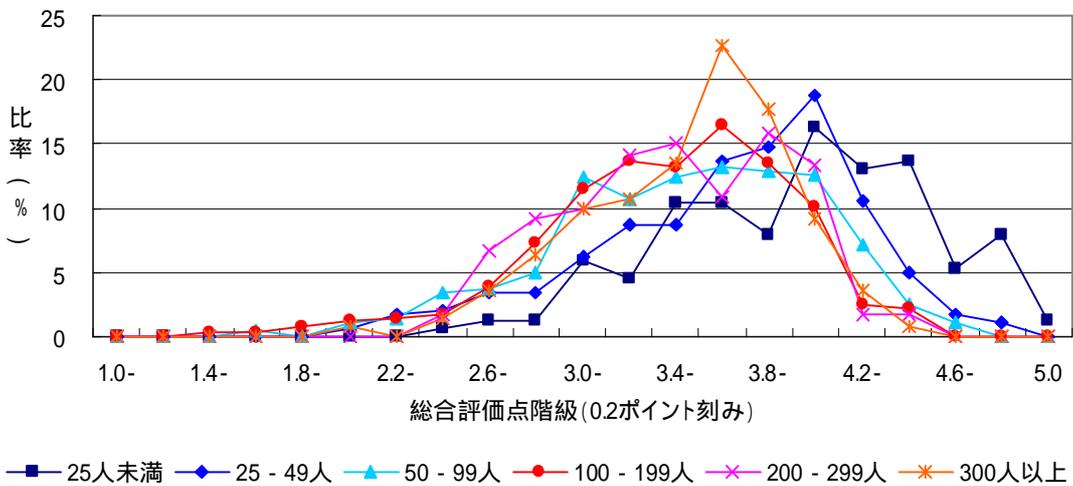


図4 学部講義、受講人数別、授業毎の総合評価平均点の分布(回答者10人以上)



3. 総合評価点の重回帰分析結果

前項では、授業の総合評価点に影響する要因として、授業の種類と受講人数を取り上げましたが、これら以外の要因も考えられます。また、それらの要因同士が関連しあっていることも当然想定できます（例えば、一般に、演習は講義よりも受講人数が少ないなど）。重回帰分析は、こうした複数の説明変数（授業種類や受講人数など）のそれぞれが、被説明変数（授業の総合評価点）に及ぼす影響を推計する統計手法です。個々の学生の回答を観測単位としたデータを用いて、学部、大学院の別に推計した結果は、表2に示す通りです。

表2 総合評価点の重回帰分析推計結果(係数推計値、カッコ内は標準誤差)
(個々の学生の回答を観測単位としたもの)

説明変数	被説明変数 = 学部・総合評価点(問 12)		被説明変数 = 大学院・総合評価点(問 10)	
	(1)	(2)	説明変数	(3)
受講者数	-0.001*** (0.000)	-0.002*** (0.000)	受講者数	-0.032*** (0.004)
受講者数 ²	1.295 × 10 ⁻⁶ *** (0.000)	2.241 × 10 ⁻⁶ *** (0.000)	受講者数 ²	0.000*** (0.000)
出席率	0.009*** (0.000)			
学年(1年生が比較対象)			課程(修士が比較対象)	
2年生ダミー	0.099*** (0.007)	0.042*** (0.007)	博士ダミー	-0.218*** (0.045)
3年生ダミー	0.258*** (0.009)	0.118*** (0.008)	課程その他ダミー	-0.189*** (0.049)
4年生ダミー	0.521*** (0.013)	0.316*** (0.012)		
科目種類1(基礎科目が比較対象)				
専門科目ダミー	-0.111*** (0.010)			
教職資格科目ダミー	-0.020 (0.035)			
科目種類2(必修科目が比較対象)				
選択科目ダミー	0.134*** (0.008)			
その他科目ダミー	0.144*** (0.033)			
科目種類3(講義が比較対象)				
演習ダミー	0.146*** (0.012)			
語学ダミー	0.125*** (0.012)			
実験ダミー	0.021 (0.020)			
実技ダミー	0.670*** (0.017)			
担当教員(専任教員が比較対象)			担当教員(専任教員が比較対象)	
兼任教員ダミー	-0.028*** (0.007)	0.025*** (0.006)	兼任教員ダミー	0.050 (0.041)
定数項	2.921*** (0.020)	3.897*** (0.008)	定数項	4.597*** (0.055)
R ² (決定係数)	0.066	0.021	R ² (決定係数)	0.050
サンプル数	107,645	107,799	サンプル数	2,749

注:

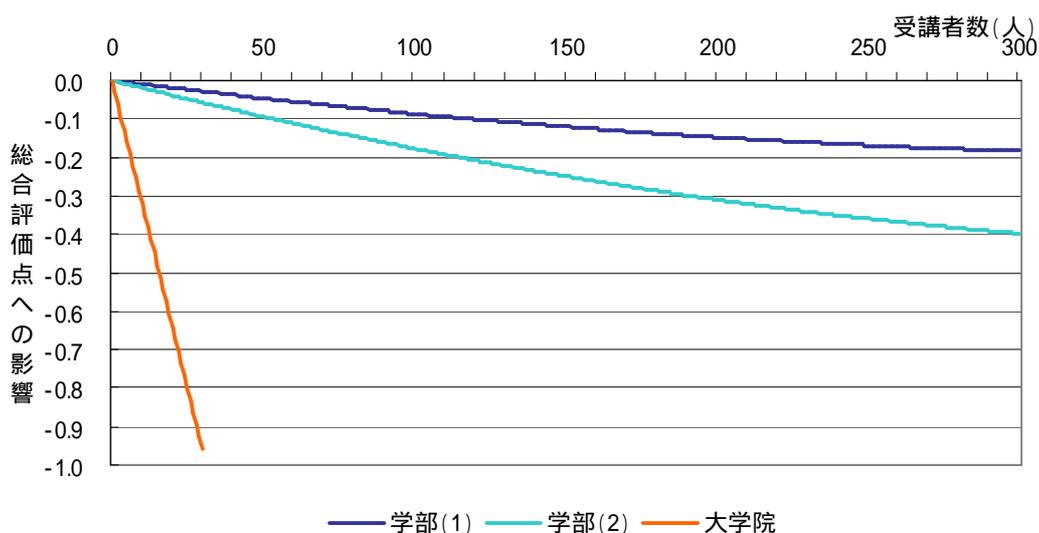
- 1)重回帰分析とは、被説明変数を説明変数(定数項を含む)の1次式で説明しようとする手法。決定係数は、被説明変数の変動のうち、説明変数の1次式で説明できる変動の割合を示す。係数推計値は、それぞれの説明変数に掛かる係数であり、標準誤差は、係数推計値がどの程度タイトに推計されているかを示す。「係数推計値 $\pm 1.96 \times$ 標準誤差」は95%の信頼区間と呼ばれ、その区間に0が含まれていない場合は、係数推計値が有意水準5%(=100-95)で0ではない、ということと一致する。上表中の***印は、係数推計値が有意水準1%(5%より厳しい基準)で0ではないことを示している。
- 2)説明変数のうち、出席率は、学部アンケートの問2の回答を%表示に置き換えたもの。
- 3)説明変数のうち、ダミーとは、観測値が に該当する場合に1を、そうでない場合に0をとる変数。その係数推計値は、比較対象となるグループに比べて、 に該当するグループが被説明変数に対してどれだけの効果があるかを示す。

推計結果から読み取れるのは次の点です。まず、決定係数(R^2)が、最も多くの説明変数を用いた学部のモデル(1)の場合でも6.6%とかなり低いことです。これは、被説明変数の変動の93.4%(=100-6.6)は、ここで取り上げた説明変数以外の要因、おそらくは個々の教員の教え方や学生とのマッチングなど、個別的な要因で決まっているということです。(これには、前項で用いた授業毎のデータに比べ、個々の学生の回答を観測単位としたデータでは、総合評価点のばらつきが大きいという事情もあります。)

つぎに、個々の係数推計値についてみると、そのほとんどが1%水準で有意であり、ある一定の(0ではない)効果を持っていることがわかります。しかし、これは推計に用いたサンプル数がきわめて大きいことが影響しています。実際に総合評価点に影響があるかどうかを見るには、係数推計値の大きさ自体に注目する必要があります。学部のモデル(1)の場合は、実技ダミー(授業の総合評価点が、講義に比べ0.67点高い)、4年生ダミー(1年生に比べ0.52点高い)、3年生ダミー(1年生に比べ0.26点高い)、演習ダミー(講義に比べ0.15点高い)などの影響が目立ちます。

受講者数の影響については、1次項の他に2次項も入れたので、係数推計値を見ただけではその効果がわかりにくいものとなっています。そこで、受講者数を実際に推計式に代入して、授業の総合評価点への影響を見てみました(図5)。それによると、学部のモデル(1)の場合は、300人規模でマイナス0.2点、大学院の場合に説明変数を近づけたモデル(2)の場合は、300人規模でマイナス0.4点、大学院の場合は、30人規模でマイナス1.0点近い影響があることがわかります。

図5 受講者数の総合評価点への影響(多重回帰分析による推計結果)



< 付属統計表 > 全学集計結果の概要(2004 年度前期・後期、2005 年度前期・後期)

この授業を履修した理由を教えてください(複数回答可)。

区分	実施授業数	回答者数	理由						計
			1. 必須科目・選択必修科目だから	2. シラバスを見て授業内容に関心を持ったから	3. 先輩・友人に薦められたから	4. 時間の都合から	5. 単位がとりやすいと思ったから	6. その他	
< 学部 >									
04 前期	2,913	122,462	40.6	24.8	4.0	22.2	6.3	3.1	100.0
04 後期	4,346	141,227	42.4	24.9	3.6	19.1	5.3	2.5	100.0
05 前期	3,151	123,621	49.4	26.8	5.0	23.6	7.2	3.4	100.0
05 後期	4,081	118,292	54.9	26.1	4.0	21.0	6.3	2.9	100.0
< 大学院 >									
04 前期	210	2,566	11.3	50.3	10.2	18.0	5.4	5.6	100.0
04 後期	270	2,510	22.7	41.6	7.3	7.6	3.0	3.5	100.0

あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

区分	実施授業数	回答者数	出席程度						計	有効回答の平均値
			5. ほぼ100%	4. ほぼ75%	3. ほぼ50%	2. ほぼ25%	1. ほぼ0%	無回答		
< 学部 >										
04 前期	2,913	122,462	64.9	22.1	6.2	2.9	0.9	2.9	100.0	87.9
04 後期	4,346	141,227	57.2	28.0	7.6	2.9	0.8	3.4	100.0	85.7
05 前期	3,151	123,621	65.8	23.1	5.8	2.8	0.9	1.6	100.0	88.1
05 後期	4,081	118,292	60.7	29.0	6.9	2.4	0.7	0.3	100.0	86.8
< 大学院 >										
04 前期	210	2,566	68.9	19.6	2.8	0.8	0.1	7.8	100.0	92.4
04 後期	270	2,510	64.7	21.0	2.8	0.6	0.1	10.8	100.0	91.9

区分	実施授業数	回答者数	回答選択肢 (単位:%)					計	有効回答の平均点	
			5. 大いにそうである	4. そうである	3. どちらともいえない	2. そうでない	1. まったくそうでない			
< 学部 >										
04 前期	2,913	122,462	20.8	38.4	25.3	9.2	3.4	3.0	100.0	3.7
04 後期	4,346	141,227	22.5	39.5	23.7	8.0	2.8	3.5	100.0	3.7
05 前期	3,151	123,621	24.2	40.6	23.1	7.4	2.8	1.9	100.0	3.8
05 後期	4,081	118,292	25.9	42.5	22.0	6.6	2.3	0.6	100.0	3.8
< 大学院 >										
04 前期	210	2,566	28.4	41.9	17.3	4.2	0.4	7.8	100.0	4.0
04 後期	270	2,510	30.3	43.1	13.0	2.6	0.2	10.8	100.0	4.1
05 前期	305	3,905	31.8	48.2	15.5	3.3	0.8	0.4	100.0	4.1
05 後期	283	2,850	31.1	48.0	16.5	2.9	1.1	0.4	100.0	4.1

あなたはこの授業に積極的に取り組みましたか。

< 学部 >										
04 前期	2,913	122,462	20.8	38.4	25.3	9.2	3.4	3.0	100.0	3.7
04 後期	4,346	141,227	22.5	39.5	23.7	8.0	2.8	3.5	100.0	3.7
05 前期	3,151	123,621	24.2	40.6	23.1	7.4	2.8	1.9	100.0	3.8
05 後期	4,081	118,292	25.9	42.5	22.0	6.6	2.3	0.6	100.0	3.8
< 大学院 >										
04 前期	210	2,566	28.4	41.9	17.3	4.2	0.4	7.8	100.0	4.0
04 後期	270	2,510	30.3	43.1	13.0	2.6	0.2	10.8	100.0	4.1
05 前期	305	3,905	31.8	48.2	15.5	3.3	0.8	0.4	100.0	4.1
05 後期	283	2,850	31.1	48.0	16.5	2.9	1.1	0.4	100.0	4.1

この授業は、私語や途中入退室などが少なく、授業に集中しやすい環境になっていましたか。

< 学部 >										
05 前期	3,151	123,621	25.3	37.0	23.6	8.9	3.4	1.7	100.0	3.7
05 後期	4,081	118,292	28.1	39.9	22.1	7.0	2.3	0.5	100.0	3.8

この授業の内容に興味が持てましたか。

< 学部 >										
04 前期	2,913	122,462	20.3	38.1	24.6	8.8	5.2	3.0	100.0	3.6
04 後期	4,346	141,227	22.6	39.4	23.1	7.4	4.1	3.4	100.0	3.7
05 前期	3,151	123,621	24.1	39.8	22.7	7.2	4.2	1.9	100.0	3.7
05 後期	4,081	118,292	26.7	41.6	21.4	6.3	3.4	0.7	100.0	3.8

<大学院>										
区分	実施授業数	回答者数	回答選択肢 (単位:%)					無回答	計	有効回答の平均点
			5.大いに そうである ある	4.そう である	3.どち らともい えない	2.そう でない	1.まっ たくそう でない			
04 前期	210	2,566	34.4	40.3	13.0	3.2	1.5	7.7	100.0	4.1
04 後期	270	2,510	39.6	38.0	9.2	2.1	0.4	10.8	100.0	4.3
05 前期	305	3,905	39.7	42.8	13.1	2.8	1.0	0.5	100.0	4.2
05 後期	283	2,850	41.2	41.4	12.5	2.9	1.6	0.4	100.0	4.2

この授業は、シラバスに示された目的や方法に沿って、適切に運営されましたか。

<学部>										
05 前期	3,151	123,621	19.2	34.5	16.3	1.9	1.3	26.9	100.0	3.9
05 後期	4,081	118,292	21.7	34.2	14.8	1.6	1.1	26.6	100.0	4.0

この授業の教え方は熱意が感じられるものでしたか。

<学部>										
04 前期	2,913	122,462	25.0	38.8	22.9	6.2	4.1	3.1	100.0	3.8
04 後期	4,346	141,227	27.5	39.9	21.3	4.9	3.0	3.5	100.0	3.9
05 前期	3,151	123,621	28.8	42.0	20.6	4.2	2.6	1.8	100.0	3.9
05 後期	4,081	118,292	32.3	43.3	18.4	3.5	2.0	0.5	100.0	4.0
<大学院>										
04 前期	210	2,566	36.6	40.1	11.9	2.5	1.2	7.8	100.0	4.2
04 後期	270	2,510	42.0	36.1	9.2	1.7	0.4	10.7	100.0	4.3
05 前期	305	3,905	44.5	40.5	11.0	2.4	1.1	0.6	100.0	4.3
05 後期	283	2,850	44.0	40.9	10.2	2.9	1.4	0.6	100.0	4.2

この授業の教え方はわかりやすく工夫されていましたか。

<学部>										
04 前期	2,913	122,462	17.0	33.7	29.6	10.3	6.2	3.2	100.0	3.5
04 後期	4,346	141,227	20.2	36.0	27.4	8.3	4.6	3.6	100.0	3.6
05 前期	3,151	123,621	22.6	36.5	26.4	8.1	4.6	1.8	100.0	3.7
05 後期	4,081	118,292	26.3	38.6	24.2	6.8	3.6	0.6	100.0	3.8
<大学院>										
04 前期	210	2,566	24.8	39.2	20.2	5.5	2.3	8.0	100.0	3.9
04 後期	270	2,510	30.8	38.6	15.3	3.1	1.3	10.9	100.0	4.1

使用教材は、この授業の内容を理解するのに適切でしたか。

<学部>										
04 前期	2,913	122,462	13.5	29.4	24.2	6.0	3.6	23.3	100.0	3.6
04 後期	4,346	141,227	16.6	32.1	22.7	5.0	2.9	20.7	100.0	3.7
05 前期	3,151	123,621	17.3	32.8	20.6	4.1	2.4	22.9	100.0	3.8
05 後期	4,081	118,292	20.6	34.9	19.1	3.6	2.1	19.8	100.0	3.9
<大学院>										
04 前期	210	2,566	20.5	32.9	15.6	3.0	1.3	26.7	100.0	3.9
04 後期	270	2,510	28.4	34.9	12.0	2.4	0.7	21.5	100.0	4.1

この授業では学生の参加意欲が促されるような工夫がなされていましたか。

<学部>										
04 前期	2,913	122,462	12.9	27.7	36.2	13.1	7.0	3.1	100.0	3.3
04 後期	4,346	141,227	15.7	30.5	34.4	10.7	5.1	3.5	100.0	3.4
05 前期	3,151	123,621	17.1	32.0	34.4	9.5	4.4	2.6	100.0	3.5
05 後期	4,081	118,292	19.9	34.7	32.1	8.4	3.6	1.3	100.0	3.6
<大学院>										
04 前期	210	2,566	19.4	34.6	28.4	6.8	2.8	7.9	100.0	3.7
04 後期	270	2,510	27.7	36.0	20.6	3.4	1.3	11.0	100.0	4.0

この授業の内容は理解できましたか。

<学部>										
04 前期	2,913	122,462	13.7	38.0	27.5	11.6	6.1	3.1	100.0	3.4
04 後期	4,346	141,227	16.8	39.4	26.2	9.6	4.5	3.5	100.0	3.6
05 前期	3,151	123,621	17.8	40.9	25.3	8.6	4.6	2.8	100.0	3.6
05 後期	4,081	118,292	20.7	43.0	23.8	7.3	3.7	1.4	100.0	3.7

<大学院>										
04 前期	210	2,566	19.0	44.5	20.0	6.7	2.1	7.7	100.0	3.8
04 後期	270	2,510	21.8	46.8	16.1	3.9	0.7	10.8	100.0	4.0
05 前期	305	3,905	22.2	49.9	20.9	5.1	1.3	0.6	100.0	3.9
05 後期	283	2,850	25.9	49.1	17.9	5.0	1.6	0.6	100.0	3.9

この授業は総合的に見て満足できるものでしたか。

<学部>										
04 前期	2,913	122,462	18.6	36.8	26.4	9.5	5.6	3.1	100.0	3.5
04 後期	4,346	141,227	21.7	38.9	24.3	7.4	4.2	3.5	100.0	3.7
05 前期	3,151	123,621	21.6	37.4	23.0	7.0	4.3	6.6	100.0	3.7
05 後期	4,081	118,292	25.4	39.9	20.9	5.9	3.5	4.5	100.0	3.8

<大学院>										
04 前期	210	2,566	28.6	40.8	15.9	4.3	2.5	7.8	100.0	4.0
04 後期	270	2,510	34.7	38.9	11.2	3.3	1.0	10.8	100.0	4.2
05 前期	305	3,905	36.6	42.1	12.8	3.7	1.8	3.0	100.0	4.1
05 後期	283	2,850	37.1	41.3	11.8	3.6	2.2	3.9	100.0	4.1

区分	実施授業数	回答者数	回答選択肢 (単位:%)					無回答	計	有効回答の平均点
			5. 大いにそうである	4. そうである	3. どちらともいえない	2. そうでない	1. まったくそうでない			

あなたはこの授業に対して十分に予習・復習をしましたか。

<大学院>										
05 前期	305	3,905	16.8	37.5	29.7	12.0	3.4	0.5	100.0	3.5
05 後期	283	2,850	17.3	36.1	31.2	11.6	3.2	0.5	100.0	3.5

この授業では、学生からの質問、問題提起に対して教員は適切に対応しましたか。

<大学院>										
05 前期	305	3,905	41.0	40.2	15.3	2.0	0.9	0.5	100.0	4.2
05 後期	283	2,850	40.7	40.8	14.3	2.1	1.5	0.6	100.0	4.2

この授業で使用した教材のレベルは適切でしたか。

<大学院>										
05 前期	305	3,905	27.6	44.2	21.6	3.7	1.2	1.7	100.0	3.9
05 後期	283	2,850	29.0	43.9	19.7	4.1	1.9	1.4	100.0	4.0

この授業の内容は、高度職業人をめざすキャリア形成にとって意義が認められますか。

<大学院>										
05 前期	305	3,905	32.3	37.4	15.3	2.4	1.7	10.8	100.0	4.1
05 後期	283	2,850	34.6	37.5	13.3	2.6	2.1	9.9	100.0	4.1

この授業で履修の専門分野に関する有用な知識が得られましたか。

<大学院>										
05 前期	305	3,905	36.2	44.2	14.9	2.8	1.3	0.6	100.0	4.1
05 後期	283	2,850	38.1	43.4	13.1	3.1	1.8	0.5	100.0	4.1

4. まとめ

今回の結果は、授業に対する評価が、過去2年間、着実に向上していることを示しています。しかし、大人数講義ではまだまだ満足度が低いこと(受講者数が100人以上の場合、総合評価平均点が4点以上の講義は10数%に過ぎない)、アンケート実施率が前回より低下したことなど、問題点も見られます。

アンケート調査の結果を、学生へのフィードバックも含め、各教員が授業改善により一層活用していくことが今後の課題と考えられます。

・ 本報告に関するお問い合わせやご意見は、法政大学 FD 推進センターまでお寄せ下さい。

〒102-8160 東京都千代田区富士見 2-17-1

電話：03-3264-4285 / 9929 FAX：03-3264-4123 E-メール：fd-jimu@hosei.ac.jp

・ また、FD 推進センターの活動については、<http://www.hosei.ac.jp/fd/> をご覧下さい。